

蒲田東地区管内	
人	男 23,340名
	女 21,487名
口	計 44,827名
世帯数 26,813世帯	
平成28年1月1日現在	

かまた東

★発行
地域力推進
蒲田東地区委員会

★編集
地域情報紙「かまた東」
編集委員会

★事務局
蒲田東特別出張所
蒲田本町2-1-1
Tel (5713) 2001

たのしく防災 まもりんピック蒲田東

まもりんピックは、昨年八月に大田区総合体育館で行われた防災の運動会です。初めてにもかかわらず、千人を超える人に来場していただきました。多くの方々から、「良かった」「今度はいっやるの」というご意見をいただきましたが今回は、裏話を紹介します。

体育館を見た

「大田区体育館が新しくなったのに、中を見たことがないね」というある町会長の一言がきっかけでした。大地震に備え、大切なのは心の絆です。そこで、体育館で子供からお年寄りまでが楽しく防災を学び絆を深めるイベントをしようということになりました。企画を担当したのは各自治会・町会から選出された課題検討委員十九名。準備の六ヶ月間は苦勞の連続でした。

種目はみんなのアイデア

種目は、防災×クイズや担架搬送レースなど五競技ですが、始めから決まっていたものではなく、会合を繰り返すうちにより良い

失敗の連続

ものになっていきませんでした。バケツリレーもその一つです。体育館は水を使えないので、カラーボールを運ぶこととし、二列にしてずれていけば、みんながバケツリレーのいろいろな動作ができるというのもメンバーから出たアイデアでした。

いよいよ本番開始。ところが最初からつまづきました。防災クイズでは、音声が天井に反響しフィールド内の人には聞き取りにくいのです。種目のリハーサルは何回もしたのですが、音響のチェックを忘れたのが原因でした。宝探しでも不測の事態が起きました。賞品は百六十個用意していましたが、子供の数は百人位だったので大丈夫だと思っていたのですが、始まってみると足りなくなりました。一度参加してからのもう一度並ぶ子供がいたのでした。募集係が機転を利かせロープで仕切ったことなどなんとか間に合いました。備蓄準備レースにもトラブルがありました。この種目は事前

登録でしたが、目印を配っていないため、登録なしの参加者が出場し、登録していても参加できないチームが出てしまいました。その場で謝って何とか参加を辞退していただきましたが、綿密な事前準備の必要性を痛感しました。失敗の連続でしたが、係員の皆さんの機転でなんとか切り抜けることができました。

盛り上がったバケツリレー



盛り上がったバケツリレー

最終種目は、バケツリレーでした。四地区対抗です。来賓も含め全員に参加していただきました。容器にボールを入れ、手渡しで送るレースです。子供からお年寄りまで真剣そのもの、会場が熱気に包まれました。結果は、南蒲田地区が優勝、団結力の強さを示しました。

行政の力に感謝

このイベントは、事務局の方々がいなければ成功することはいけません。私たちの思いつきを具体化するために、夜遅くまで頑張ってくれました。本当に感謝しています。「このメンバーとなら、また一緒に仕事をしてみたい」とは、ある事務局の方の感想です。この言葉を聞いたときに、

目的の一つだった心をつなぐ絆ができ、仲間になれたと思えました。

今年もやります

実行委員長をしていただいた東蒲田一丁目自治会長の高木康光さんは、「これから、子供からお年寄りまでが、楽しく防災を学ぶ取り組みが重要になる。この取り組みをさらに広めていきたい。」とおっしゃっています。昨年の問題点を克服し、皆さんが楽しめるまもりんピックにします。十月九日(日)に大田区体育館でお会いしましょう。

蒲田東地区課題検討委員

阿部慶一

(蒲田本町二丁目町会)

19の顔と声

このコーナーは、蒲田東地区十九の町会・自治会からコラム・随筆等を、寄稿していただいております。今号では自由課題で記事をお願いしました。

いつも明るく返事はハイ!

蒲田五丁目南町会

橋本 俊夫

リタイアして間もなくの事。とある寿司屋で町会の方から突然「あなた輪投げの選手やってくれない?」と言われた。輪投げとは今時随分古風なお遊びがこの街では行われているものだと思いつつも「あ、ハイ」素直に返事をしてしま

子供たちの声

東蒲田一丁目町会

水谷 英枝(ふさえ)

う悪い癖。後日案内されたビルの一室へ顔を出すとそこは老人会の集まりの場であった。「しまった!」と、その中の御婦人の一人に「もしかして〇〇さんの息子さん?」と尋ねられ、またしても「あ、ハ

かわいい声がすると思わずほほえんでしまいます。ああいいなあ、もつと元気に走り廻つて、遊んでエ。でも、道路に飛び出したりしたらキケンです。公園でも子供たちの声がしませんが、私の行く時間が違うのかな。放課後の運動場が遊び場かな。

大腸内視鏡検査

東蒲田二丁目町会

鈴木 鐵也

大腸内視鏡検査を受けた。この検査は検査そのものよりも事前の準備が大変だ。前夜は早めの夕食後八時までには下剤を飲む。当然だが暫くするとトイレに駆け込む。その回数や報告するので正の字で回数をメモする。当日は朝八時に病院へ。病院では一升弱の洗浄剤を一時間半かけて飲む。その間、頻りにトイレに通つて出たものが透き通るようになるまで出す!出す!出す!その回数およそ十回!出たものが透き通るようになってやつと検査OKとなった。そしてストレッチャーに乗って検査室へ。鎮静剤が効いたのかい

炊き出し訓練を実施

蒲田二丁目自治会

服部 孝介

十月二十四日(土曜日)、蒲田二丁目の児童公園で、防災かまどを使用し炊き出し訓練を実施しました。災害はいっ起つてくるかもしれない。それにそなえていっ起つてもよいように心のそなえをしていかなければならないと思います。

合同の防災訓練に参加することはもちろんのことですが、町会でもいろいろ炊き出し訓練をこれからも実施していきたいと思えます。

蒲田の少林寺拳法

蒲田三丁目町会

羽田 益雄

品川区から大田区に来て今年で三十八年になりました。昭和の五十年代、子供達は、皆元気に外で走り廻っていました。なわ跳び、おにごっこ、かくれんぼ、かんけり、しのび足(ダルマさんがころんだ)等、私達も一緒にやったような気がします。夏の夜は、空き地でせんこう花火やねずみ花火など、もやりました。このごろは、子供たちの声が聞こえないのがとてもさびしいです。時々、家の近くで、



公園のベンチがかまどに変身

という人間の急所を攻めますので、体の部位や筋肉を鍛える必要がなく、六十五歳の私でも気楽に楽しめますし、蒲田では女性や子供も多く学んでいます。また、技を学ぶだけでなく、人間としての成長やリーダーを育てる事を目的としているのも特徴です。

要援護者見守り隊を始めて

蒲田本町二丁目町会
竹林 昭子(まさこ)

わが町から「高齢者の孤独死を出さない様にしよう」と云う町会長の声から四年前に要援護者見守り隊を結成致しました。一〇五区に分け、年三回主に一人暮らし高齢者宅をそれぞれ婦人部員と民生委員の二人で訪問をしています。ただ、二三日前に近所の



人と話をしていらしたのに、ヘルパーさんが、亡くなられているのを発見、と云うこともありました。すべて未然に防ぐのは不可能ですが、廻る事によって健康面や、生活のパターンが結構把握出来ます。廻ってみて思った事は、高齢者二人暮らしは登録対象で無いです。かなり高齢な夫婦に声を掛けてみると、お互いの老いに不安を一人暮らしの方に抱えていらつしやる様に見えました。「町会の方に気を掛けて戴いてあげたい」と、とても喜ばれます。これからはこう云う家庭にも目を向け声掛けをして行こうと思います。

環境改善パトロール

蒲田東口町会
鈴木 敏弘

私たちの町は駅前の繁華街に有り二十四時間賑わいを見せています。特に夜は都内有数の歓楽街となり、喧嘩等トラブルが多発しています。町の安全を守るため「安全パトロール隊」を結成し月二回夜のパトロールを始めましたがなかなか効果がありません

でした。羽田の玄関口蒲田が夜怖い街ではいけません。区とも相談の結果三年前「環境改善パトロール」の実施が決まり、毎月第一・第三金曜日の夜九時から区・警察・近隣の夜九時からの協力頂きスタート致しました。翌年には新宿区をモデルにして「大田区引き防止条例」が罰則付きで施行されました。このおかげで現在では暴力団関係者も悪質風俗店も減少しつつあります。現在でも町会の二回と合わせ「安心で安全な蒲田のまちづくりにご協力をお願いします！悪質な客引きはやめましょう」と連呼しながら四十名ほどでパトロールを続けています。

いつの日か昔の明るく安心な夜の蒲田の町に戻ることを信じ、そしてオリンピックを控え、「国際都市おた」の顔として恥ずかしくない町を目指してみんなで頑張ろうと思っています。

市民消防隊の活動について

南蒲田一丁目自治会
椎林 治

消防隊に入り十八年、当時

二十数名いた隊員も若返ったとはいえ、十一名と半減、少数精鋭といえは聞こえがいいが、発災時仕事で地域内にいない場合もあり、何人が実際に活動できるか？

現在は、自隊の訓練に加え、自治会の防災対策強化として、区から配備された消火ポンプ・スタンドパイプ（区の支給以外に自治会として各地域部に一セットずつ配備）や保有の防災資機材を、隊員だけでなく役員も使えるようにと、防災訓練や消防隊の訓練時以外にも地域部単位で操作取扱を指導し、夜警パトロール時は隊員先導で地域内の把握や消火器・消火栓・防火水槽の確認等、指導啓蒙活動しております。

清寿会

東蒲田一丁目自治会
五十嵐 清子

六十才を過ぎたので「清寿会」に入会しました。楽しく歌ったり踊ったり、グラウンドゴルフをやったりして身体に良いことをやり心のはげみになればいいとはじめました。

清寿会は昭和四十七年八月



市民消防隊訓練の様子

に初代会長森田松平氏はじめ有志の方々の活動により誕生となりました。踊り、造花、俳句、ゲートボールなどを行ってました。二年前までは会員三十八名でしたが、高木現会長の力づよいあとおしもあって現在は六十名以上になりました。

平成二十七年十一月五日には東京都老人クラブ連合会から専心努力されてその業績を表彰いたしますと表彰状をいただきました。また、私自身清寿会に入会して踊り始めて十九年がすぎているように思います。

副会長二人はじめ役員のがんばりに心をこめて感謝状を贈りたいと思います。

蒲田むかしばなし(最終回)

西山 義一 (郷土史料家)

◎ 顯妙さんの手洗鉢

薄田神社が改築された時、手洗所も新設されて片付けられた古い手洗鉢のことなのだが・・・。

明治維新の嵐が日本国中に吹き荒れ万延・文久・元治の世、廃仏毀釈の掛声が仏教界を襲った。則ち「日本は神国」のスローガンの下、早くから神社は寺院によって保護・維持・管理されて来たが、「僧は還俗して神官になるか寺院を去るか」と迫った。いかに多くの寺宝や仏像が破壊され或いは国外へ流出した事か。

この時期に栄林寺の住職であった顯妙は村人と話し合っ立派な石の手洗鉢を神社に寄進、神社崇敬の意をアピールして、この嵐を乗り切ったのである。この手洗鉢、社前の参道左側に置かれ、その

の側に松の太木があつた。直立した幹、はるか上空で傘の様に広がった枝は、遠く池上の山からも望む事が出来た。年間を通して涼しい水音を立てていたこの水屋の側面に寄進者の村人の名が連り、末尾に四十二世顯妙代とある。栄林寺で寺伝を調べさせて貰うと四十一世があつて、四十二世の名が欠落している。この年が、尊王攘夷・廃仏毀釈の嵐が吹いた時期と重なる。

1875年太政官令によつて嵐は収束したが、後世、文豪島崎藤村によつて長編小説「夜明け前」が上梓されたが、その中に描かれている世界は正にこの廃仏毀釈の世界であり、主人公の苦悩、顯妙の苦悩に触れる事が出来るであろう。

聞き書き 関野 絃子

(蒲田二丁目東町会)

第16回 蒲田東フェスティバル

平成27年11月22日(日)、第16回蒲田東フェスティバルが、自治会町会をはじめ、45団体の参加を得て、都立蒲田高等学校で開催されました。当日は、天候に恵まれ、鼓笛隊のパレードから始まったイベントには約1800人が参加し模擬店、ステージ発表や展示コーナーなどを楽しみました。

ステージで行われた子供のヒットポツダンスでは、体育館がいっぱいになるほどの観客が集まり、盛んに声援を送っていました。また、つきたて餅のサービスには長蛇の列ができました。



手芸品の展示コーナー

第29回 お正月遊びを楽しむ会



ベーゴマ 大人に学ぶ子供

平成28年1月17日(日)、お正月遊びを楽しむ会が蒲田小学校で行われ、900人を超える親子連れで賑わいました。ボランティアの中、高生が各コーナーを担当するなど若い世代が運営に携わり、参加した家族は、こま回し、羽根つき、お手玉、おはじき、福笑いなど伝統の遊びを楽しんでいました。また、大縄跳び大会も行われ、声援が校庭に響き渡っていました。この日は曇天で寒く、参加者は豚汁、つきたてのお餅で体を温めていました。

行事予定

第65回子どもガーデンパーティー
日程 平成28年5月8日(日)
場所 萩中公園、萩中小学校
出雲中学校

数多くの模擬店や催し物そしてステージ発表等、見所いっぱいです!!
ぜひお越しください!!

◎青少年対策地区委員会 永年功労者表彰

- | | | | | | |
|----|-----|---|----|---|---|
| 中台 | 陽一郎 | 様 | 戸田 | 肇 | 様 |
| 植田 | 美智子 | 様 | 山本 | 勇 | 様 |
| 渡辺 | 克子 | 様 | | | |

編集後記

本紙発行にあたりましては、いつも自治会・町会の皆様には温かいご協力を賜り厚く御礼も申し上げます。

さて、今号の1面は「防災運動会まもりんピック蒲田東」を地域課題検討委員の阿部編集委員に振り返って頂きました。19の自治会町会が一堂に集うことは規模が大きくなることですが、課題検討委員の皆様はその準備に大変なご苦労がされたことと推察します。今年も多くの方々が参加した成功しますよう祈ります。

平成24年2月から連載してきました故西山義一氏の「蒲田むかしばなし」は今号で最後となりました。西山様、貴重なお話をありがとうございました。関野絃子前編集委員に心より感謝申し上げます。

編集委員長	本蒲田一丁目町会	中台	陽一郎
副編集委員長	蒲田一丁目自治会	杉山	敬次郎
編集委員	東蒲田一丁目自治会	笠原	義孝
	東蒲田二丁目町会	藤井	香子
	南蒲田一丁目自治会	佐藤	昌利
	蒲田二丁目自治会	服部	孝介
	蒲田東口町会	鈴木	敏弘
	東蒲田一丁目町会	笠原	信子
	蒲田三丁目町会	山崎	礼子
	蒲田本町二丁目町会	阿部	慶一
	蒲田五丁目南町会	佐藤	慎一郎
	東蒲田二丁目南町会	笹	千代子
	南蒲田三丁目町会	宗像	正治
	京浜蒲田町会	林	幸男
	蒲田本町一丁目町会	小清水	三郎
	南蒲田二丁目町会	鈴木	國雄
	蒲田二丁目東町会	*山田	有恒
	蒲田四丁目町会	鷹取	シホリ
	蒲田公団自治会	前田	金野

*印は新任編集委員